

令和6年6月1日

立教187年

6月号
第621号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

立教187年 こどもおぢばがえり開催 ※詳細は6ページ
布教推進講話 8月24日(日) ※詳細は6ページ



少年会&学生会 第2回お泊まり会 5月3~4日 (4~5ページ掲載)

散歩道

先日、能登半島、珠洲市へ災害支援のひのきしんにいってきました。帰ってきてから「どうだった？」とよく聞かれましたが、たかだか四日間の日程で毎日同じようなところで炊き出しや、がれきの撤去をしていたので、情報としてはテレビや新聞で目にする以上のものではありません。しかし、やはり実際に現地に足を運び、自分の目で見てみると、こちらの心が変わってきます。テレビで見ただけでは「大変だなあ。」と他人事のようなところもありましたが、実際に現地に入ってみると、目にする光景はテレビで見たものと変わらなくとも、被災地が身近なものになるといえるか、「なんとかしてあげたい」と強く感じるようになりました。実際に通ってみる、ということは、私たちの人だすけ、世界たすけの活動の上でも気持ちを強くする、とても大切なものと改めて感じました。

一 理 塚

「ドラえもん」に登場する「のび太君」は東京都練馬区月見台在住の小学校四年生らしい。何をやってもうまくいかず、テストはいつも0点で、新しいマンガやおもちゃを買っても直ぐにジャイアンに取られるし、犬に吠えられて飛びのいたら水たまりにはまる始末である。それでも人生をあきらめず、しずかちゃんと結婚するのが夢で、困った時はドラえもんの道具に助けを求めようが、結局その道具に頼りすぎて失敗ばかり繰り返す：というのが毎度の落ちである。

テレビの「ドラえもん」は放送開始から今年で四十五年になるそうである。雑誌の連載が始まったのが更に十年前と言っていたので、もう半世紀以上続いていることになる。なぜそんなに長く子供たちに愛され続けるのか、調べてみると幾つかの理由が挙げられていた。

まず先ほどの「のび太」であるが、作者の藤子不二雄氏によ

れば、床屋のくるくる回る看板を見てイメージがわいたそうである。というのは、上へ上へと夢を追いかけて上昇しているように見えるが、実は同じ所をくるくる回っている。でも挫けずに明るく夢を追い続け、決して自分を見捨てない：というのがのび太のキャラクターらしい。多くの子供達がそこに共感し、夢を見続けるのだろう。

もう一つの人気の理由は、何ととっても毎回ドラえもんのポケットから出てくる便利な道具にある。よくこれだけ考えつくな、と思うほど何百何千という種類の道具が登場した。タケコプターやどこでもドアなど、我々でも知ってるくらい有名な道具もある。どれ一つとっても「こんなのがあれば：」と思わせてくれる夢の道具である。

ところで、私たちは親神様から九つの道具を貸し与え頂いている。目、耳、鼻、口、両手、両足、男女一の道具：これほど便利で重宝で有難い道具が他に

あるだろうか。

論達第四号に「よふぼく一人

ひとりが教組の道具衆としての自覚を高め、仕切って成人の歩みを進めることが、教組年祭を勤める意義である」とお示し頂く。「教組の道具衆としての自覚」とあるが、では教組の道具とはどんな道具なのだろうか。

今さら申すまでもなく、教組は御存命でお働きくださっている。ただ姿形が無い。だったら、私たちよふぼくが、教組の手となり足となり、目となり耳となり働かせてもらえば良いのではないだろうか。それを改めて自覚させてもらうのが、年祭を勤める意義、ということではないかと思案させて頂く。

さて、道具と聞いて誰でも思いつくのは、何ととっても大工道具であろう。皆が使っていると思うが、やはり本職の大工さんが使うのは違う。何が違うと言って、モノが違うのと年季が違う。そしてもう一つ違うのは、普段の手入れが違う。腕の良い大工さんほど、やはり道具を大事にケア（手入れ）している。

タクシーや運送会社は常に車の手入れをするし、漁師は船の

手入れを惜しまないし、歌手はのどの手入れを怠らない。それは良い仕事が出来なくなるからである。

より良い働きをするためには、手入れは欠かすことが出来ない。私たちよふぼくは、病気や事情が起こると、すぐに「お手入れを頂いた」と言う。そしてそれは、まるでバチでも当たったような悪いことに捉えてはいないだろうか。親神様からすれば、それは単に道具をメンテナンスして下さっているに過ぎないのでは：と思う。よふぼくが神様の道具衆なら、手入れしてもらうのは当り前のことであり、より良い働きをさせるためのことに違いない。

私たちものび太君のように、陽気ぐらし世界建設という夢を追い続け、貸し与え頂く道具を、時々ケアしてもらいながらフルに使わせて頂き、人だすけに邁進させて頂きたいものである。

「にちにちに よふぼくにてわていりする どこがあしきとさらにをもうな」 三号131

別席強調月間を終えて

教祖百四十年祭に向かう年祭活動もはや折り返し地点に差し掛かるうとしています。三年千日の二年目を迎えた本年は「教会長夫妻おたすけ推進のつどい」の開催を通して、まずは教会活動の先頭に立つ教会長夫妻が改めて教祖年祭の意義をあらしめると共に、その口中にある意識を高めて、「日々のにをいがけ」「積極的なおたすけ」「おぢば帰りの推奨」の三つのたすけ一条の実践項目を教会活動の軸として、より活発な年祭活動を展開しようとする。心一つに歩み出させて頂きました。

迎えた四月は、「おぢば帰りの推奨」のもと別席強調月間と定め、各教会にをいがけや信者家庭への丹精の上には、いつも以上に別席者をお与え頂くことを強く意識してお勤め頂いたことだと思えます。

お陰様で以下の通りたくさんの方が初席・中席を運んで下さり、中にはおさづけの理を拝戴して下さる方もおられました。

今後この勢いを衰えさせることなく、にをいがけ・おたすけ、信者家庭の丹精の上にご尽力いただき、大教会心定め初席者五十名の完遂を目指したいと思えます。

- 寺尾 美・貴 (中)
- 山下 世紀子 (初)
- センチラス・エドムンド (初)
- 内藤 真彦 (初)
- 中河合
- 木多 成海 (初)
- 丸山 木乃華 (初)
- 鍛冶屋
- 岸本 年裕 (おさづけ)
- 和道
- 古西 愛希 (中)
- 兵庫中央
- 高橋 成幸 (中)
- 川井 達郎 (中)
- 久樹
- 平井 和也 (中)
- 宮崎 さとみ (中)
- 宮崎 昌司 (中)
- 大西 脇
- 吉田 くるみ (初)
- 生田 智広 (中)
- 大江 祐子 (中)

『教祖と歩む三年千日』
教会布教実働報告

◎高鹿喜分教会会場

布教日 四月十六日

参加者 六名

会場 小野市敷地町

天理市

内容 神名流し

路傍講演

所感 午前10時に教会から1、3km離れた小野イオンまで神名流しをさせて頂きました。

3人でのぼり、拍子木、笛を交代で務め、イオン前の交差点の歩道で2人合流し路傍講演をしました。路傍講演用のフリックを読み上げたり、原稿を用意して英語で講演をしてくれる方もいて、皆大きな声で勇んで務め清々しい気持ちになりました。

最後には5人で教典第3章「元の理」を読み上げて終わりました。帰路はゴミ拾いをしながら教会へ戻りました。会長は、詰所で教養掛のため同じ時間に天理市内で神名流しをしました。



教祖と共に歩む三年千日

大教会布教実働日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』

毎月15日 午後1時30分 大教会神殿集合
戸別訪問・振り返り 午後三時三十分 解散

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月24日 午後1時30分頃 大教会神殿集合
神名流し 午後二時 終了

西協分教会

六代会長就任の御報告

去る三月二十六日ご本部にて理のお許しを戴き、西協分教会六代会長に就任させて頂きました。また、四月二十八日には皆様のお力添えを頂きまして、西協分教会創立百周年記念祭並びに六代会長就任奉告祭を勤めさせて頂く事ができました。誠にありがとうございました。

教会設立から百年という大きな節目に会長を交代させて頂いた事は大きな喜びであると共に責任の重さを改めて感じております。歴代会長、それぞれ支えて下さった先人の皆様のお遺し下さった西協の道をしっかり受け止め、またさらに教会が陽気で溢れ「陽気暮らしの手本ひながた」となりますよう、夫婦でしっかり心を定め、まずは教祖百四十年祭に向かって邁進してまいります。しかしながらまだまだ未熟な者でございますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

西協分教会 遠藤拓弥

少年会 & 学生会 第2回お泊まり会

GW真っ只中の5月3日～4日にかけて、宇仁大教会でおとまり会を開催しました。これは昨年の11月に開催された第1回に続き、宇仁に繋がる少年会員が小さい頃から寝食を共にし、プログラムを通して仲を深め、大教会という場所にも馴染んでもらおうとの思いで企画し、密かに定例化を狙っている行事です。

初日は前回と同じく西協のへそ公園内のテラドームでスターウォッチング。好天の星空に巨大望遠鏡で次々に珍しい星を見た子ども達は、職員さんの解説にも熱心に耳を傾けていました。続けてこども科学教室の「ストローロケットをとばそう！」に参加。ストローとスーパーボールで作った手作りロケットが飛び跳ねると、楽しそうな歓声があがりました。

大教会に帰って室内テントに寝袋で就寝。テント内でカードゲームをしたりお話したりと、普段とは違う雰囲気についつい夜更かしした子もいたような。人数の都合上テントに入れなかったお母さんすみませんでした。

2日目は6時半起床で7時から朝づとめ。その後婦人会の奥様方の心づくしの朝食をいただきました。

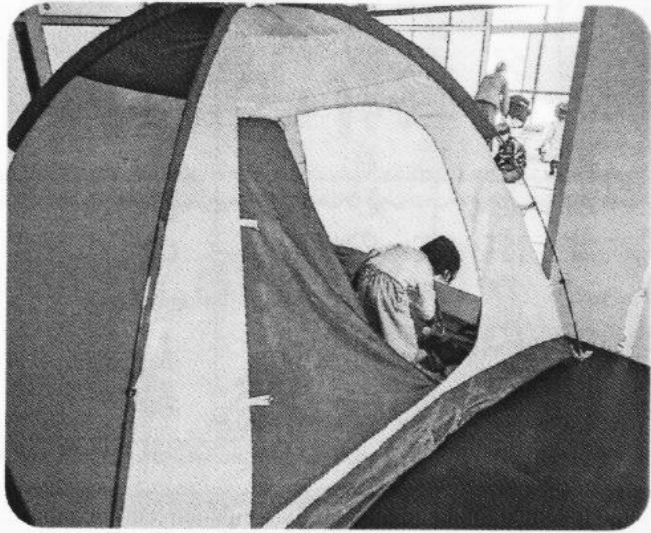
9時からあやめ会の皆さんによるパネルシアターでひのきしんについて学んでから、神殿北側の草引きをさせてもらいました。小さな子ども達も張り切ってひのきしんをしてくれて、短い時間でしたがみるみる綺麗になりました。

10時からは多神分教会の松本育大先生を講師に迎えてリトミックの時間。リズムや音楽に合わせて楽しく体を動かし、またおつとめの練習にも役立つ手遊びなどを教えていただきました。昼食後は自由時間。かくれんぼやパズルやボール遊びなど、思い思いに楽しんだ後はパンケーキとフルーツ白玉のデザートをいただいてプログラム終了となりました。

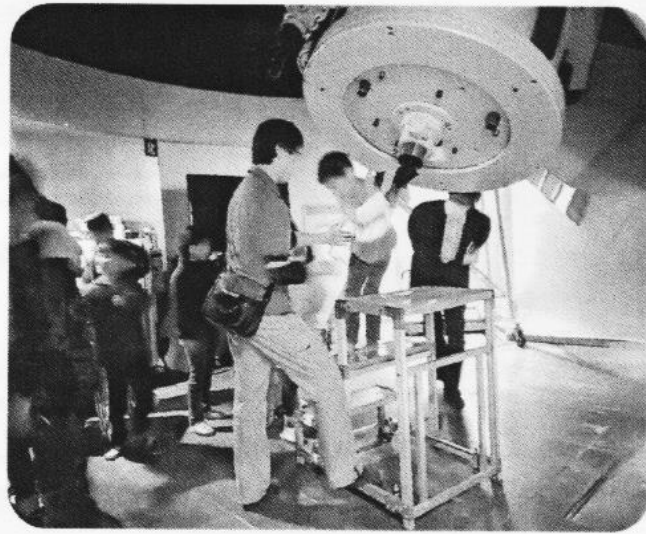
気持ちの良い季節に天候にも恵まれ、日帰り参加も合わせて、少年会員23名、育成会員14名（うち高校生1名）のご参加をいただきました。秋には第3回をしたいと思いますので、また次回もご参加ご協力をよろしくお願い致します。皆さんありがとうございました。

少年会宇仁団団長 原田信一

～お泊まり会 1日目～



テントでお泊まり

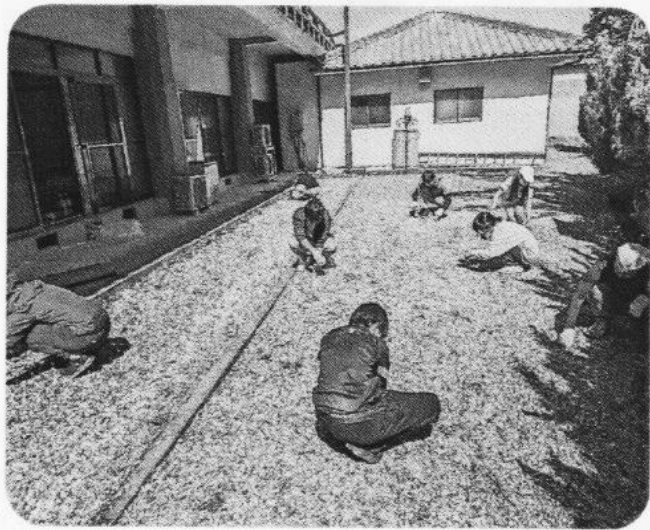


天体観測

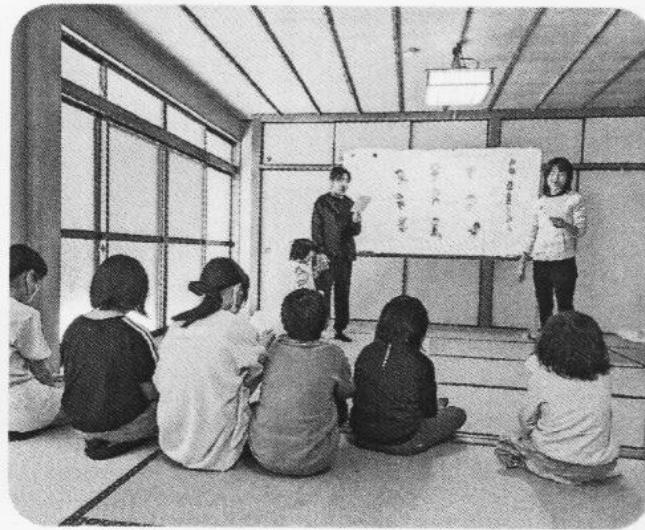


ストローロケット作り

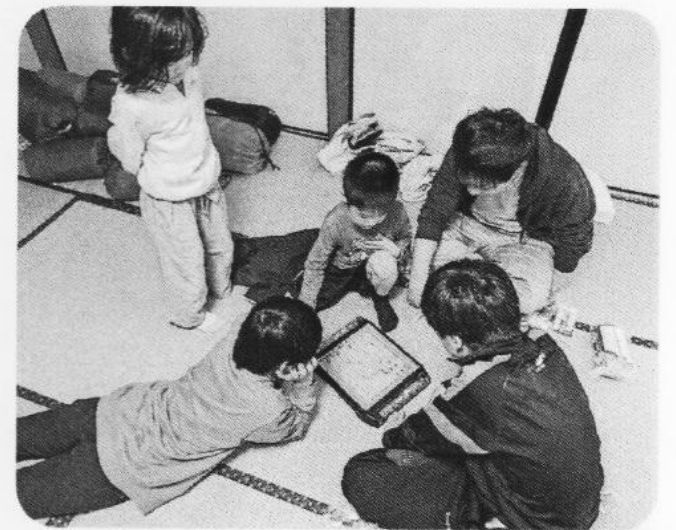
～お泊まり会 2日目～



草引きひのきしん



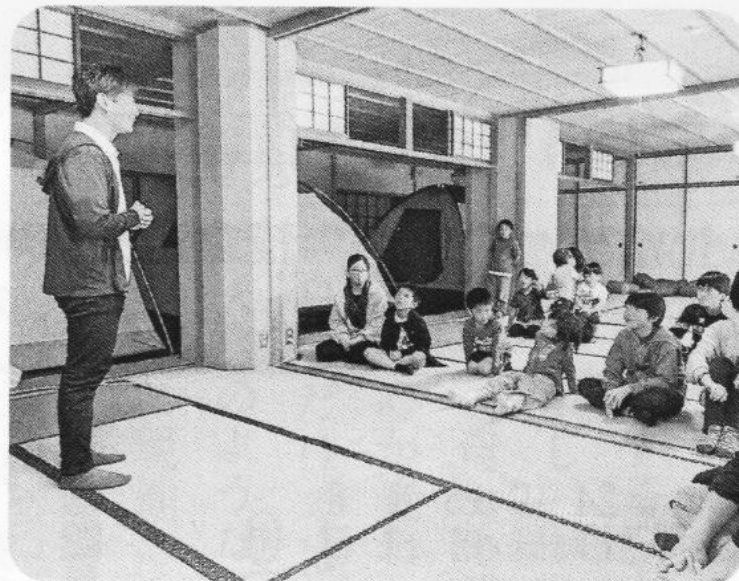
パネルシアター



仲良くゲーム遊び



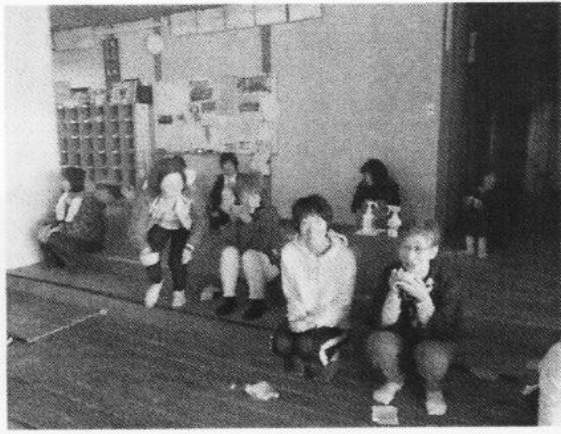
パンケーキを食べながら
ウクレレ鑑賞



♪松本先生による
リトミック♪



秋のお泊まり会も乞うご期待！！



婦人会 境内地草引きひのきしん

五月九日、婦人会で晴天のもと、境内地草引きひのきしんをさせて頂きました！大人二十二名、子供一名と久しぶりに大勢の参加で、境内地がすっきりきれいになりました。心も嬉しくみんなで勇ませてもらいました。ありがとうございます！

Wow!!!
こどもおぢばがえり
2024 7/27-8/4
夏のおぢばに大集合！

こどもおぢばがえり公式 HP はこちら



(URL)

<https://kodomo-ojibagaeri.com/>

布教推進講話

<日時> 8月24日(土)
大教会祭典後

<講師> 平野 晋 先生
西大寺分教会長
布教の家岡山寮副寮長

詰所よりお知らせ

この度、6月1日より詰所主任が笹倉道弘先生から遠藤孝廣先生に交代されます。笹倉先生長い間おつとめご苦労様でした。

おぢば通信

四月のうごき

◎別席の誓い

初席者 豊原 三名

中河合 二名

大西脇 一名

をさづけの理拝戴

鍛冶屋 岸本年裕

◎四月帰参者 一九二名
(詰所調べ)

6月行事予定表

6日 青年会例会

9日 婦人会例会

15日 布教実働日

19日 少年会例会

24日 大教会月次祭

午前10時30分執行

26日 神名流し

本部月次祭

午前9時執行

3月～6月 部内一斉巡教

婦人会より

◇大教会炊事当番

6月 中河合

7月 豊原

8月 神福A

よろしく

お願いします